

事務事業評価シート

H28(標準事業)

①基本事項	計画コード	事業名		部名	企画総務部
	02334-1	移住・交流促進事業		室名	企画政策室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興		財	会計 一般会計
	基本施策	06:まちづくり観光の推進		務	款 総務費
	施策の方向	04:まちづくり観光のマネジメント		科	項 総務管理費
体系	戦略プロジェクト			目	目 企画費

②目的・概要	対象	移住希望者、移住者			
	目的	持続可能なまちづくりのため、人口ビジョンに示した展望における2060年の人口概ね5万人の維持に向け、本市への移住を促進し転入者の増加を図ることで、社会増による人口維持をめざす。			
	概要	本市が移住先として選ばれるため、県等と連携し、移住に関する情報発信を行うとともに、移住の後押しができるよう、地域間交流や移住体験の機会を設ける。			

			27年度	28年度
③指標	①	名称 移住フェアの出展回数	計画値	
		補足 全国フェア、三重県相談会等での出展回数	実績値	4
			単位	回
	②	名称 移住相談件数	計画値	
		補足 移住フェア、窓口受付合計件数	実績値	39
			単位	件
	③	名称 移住体験ツアーの開催回数	計画値	
		補足	実績値	1
			単位	回
④	補足	名称 移住相談窓口の設置	計画値	
			実績値	設置
			単位	

年度計画				年度実績		
④事業の計画・実績				○全国移住フェアへの出展:大阪1回、東京2回 ○三重県移住相談会への出展:東京1回 ○移住相談件数:窓口12件、移住フェア等27件 ○移住体験ツアー:1回(関宿の案内、先輩移住者との交流等) ○移住促進パンフレットの作成:3,000部		
	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ① 1,098
	国庫支出金		5,550	5,357	一般職員人件費 ②	1,098 平均給与額×③
	県支出金		5,550	5,042	所要人員 ③	0.15
	地方債				臨時職員人件費 ④	
	その他				受益者負担額 ⑤	
	一般財源		0	315	受益者負担率	0.0% ⑤ / ⑥
	再	翌年度への繰越額				
	掲	前年度からの繰越額	5,550			
	総人件費		①	1,098		
	総コスト		⑥	6,455		

⑤事業の評価	【事業の成果】		総合判定	
	移住に関する総合的な相談にワンストップで対応するため、移住相談窓口を設置するとともに、インターネットや移住フェア等を通じて、主に都市部の住民に対して情報発信を行った。また、本市に触れてもらう機会を創出するために移住体験ツアーを実施し、本市の魅力をPRすることができた。		A	
	【反省点・課題】		順調に進んだ	
	移住相談を受けた後に、実際に移住へとつながっているか把握しづらいことが課題となっている。また、移住を検討する人にとって訴求力のある情報を見極めて、積極的に発信していくことが必要である。			
⑤事業の評価	【改善の方向性】			
	本市に魅力を感じてもらえるよう、積極的な情報発信や移住体験ツアーを実施するとともに、実際の移住へとつながるよう、総合的な相談に対応できる体制を整えていく。			
	また、将来的には、地域の移住者受入意向について調査を行うなど、地域と連携した移住支援体制を検討していくことが必要である。			
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切		最終評価確認者: 企画政策室長 豊田 達也